

授業科目	学校保健					実務家教員担当科目	○				
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	西丸 月美										
授業概要	<p>学校保健は、学校において児童生徒等や教職員の健康の保持増進し、心身ともに健康な国民の育成を図るという教育目的に寄与することを目指しています。本講義では、学校における保健管理、保健教育、組織活動の3領域について主に学びます。</p> <p>また、養護教諭として理解しておく必要がある事項について、基本的内容を中心に学びます。実務家教員としては、児童生徒の今日的な健康課題の解決に向けた実践事例等について、養護教諭の仕事と関連付けながら解説し、演習やグループワークを取り入れ講義を行います。</p>										
授業形態	講義・演習	授業方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校保健の意義及び制度、学校保健の領域と構造について説明することができる。 2. 学校保健における保健管理の概要について説明することができる。 3. 学校保健活動の組織活動の概要について説明することができる。 4. 学校保健安全計画の立案・実施・評価方法について説明することができる 5. 学校における食育・学校安全・危機管理の概要について説明することができる。 6. 学校における環境衛生活動の概要について説明することができる。 7. 児童生徒の現代的な健康課題について説明することができる。 <p>上記に掲げた行動目標について、講義で使用した資料等を参照しながら説明することができる</p>										
理想的レベル	上記に掲げた行動目標の全てを完全に達成し、目指すべき養護教諭像を明確に説明することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）					備考					
試験	50%										
小テスト											
レポート	20%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%										
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21507J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
シラバスを読んでくること。										4	
テキストの当該部分を予習しておくこと											
授業計画											
第1回	テーマ：オリエンテーション										

	・授業の全体像と進め方について説明する。
第2回	テーマ：学校保健の領域と構造 ・学校保健に関する制度と学校保健の領域と構造について解説し、学校保健安全法を中心とした関連法規及び学校保健計画について学ぶ。
第3回	テーマ：学校保健の組織活動 学校保健活動を円滑に進めるための組織活動やこれを担う関係機関、教職員との連携について学ぶ。
第4回	テーマ：学校保健計画・保健室経営計画 学校保健計画、保健室経営計画の概要について学ぶ。
第5回	テーマ：学校安全・危機管理 学校安全の領域と構造、安全管理の概要について解説し、学校で必要とされる危機管理について学ぶ。
第6回	テーマ：学校災害給付制度 学校災害給付制度の概要について学ぶ。
第7回	テーマ：心のケア 災害時における心のケアについて学校で必要とされる対応について学ぶ。
第8回	テーマ：学校環境衛生活動 学校における学校環境衛生活動・検査方法について学ぶ。
第9回	テーマ：感染症の予防 学校における注意すべき感染症及び感染症の予防と出席停止について学ぶ。
第10回	テーマ：食育（内部講師・西丸） 学校における食育及び学校給食について解説し、栄養教諭との連携について学ぶ。
第11回	テーマ：保健教育 保健教育における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育・医薬品の使用について学ぶ。
第12回	テーマ：現代的課題への対応 「不登校」「いじめ」「自殺」等、精神の健康が関わる諸問題について学ぶ。
第13回	テーマ：現代的課題への対応 学校における児童虐待の対応の在り方や養護教諭の役割について学び、グループ討議する。
第14回	テーマ：現代的課題への対応 「不登校」「いじめ」「自殺」「児童虐待」等、精神の健康が関わる諸問題についてまとめ、発表する。
第15回	テーマ：学校保健のまとめ 学校保健の概要について学んだことを整理する。
テキスト	養護教諭養成講座① 学校における養護活動の展開 最新版 ふくろう出版 新訂版 学校保健実務必携 第5次改訂版 学校保健・安全実務研究会 編著 第一法規

<p>参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>参考図書</p> <p>ミネルヴァ書房：「よくわかる！教職エクササイズ8 学校保健」柳園順子編著</p> <p>文部科学省：学校環境衛生マニュアル 「学校環境衛生基準」の理論と実践 平成30年度改訂版</p> <p>日本学校保健会：学校における予防すべき感染症の解説 平成30年</p> <p>文部科学省：学校における子供の心のケアサインを見逃さないために―</p> <p>文部科学省：「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育</p> <p>文部科学省：現代的健康課題を抱える子供たちへの支援 ～養護教諭の役割を中心として～平成29年</p> <p>日本学校保健会：学校保健の課題とその対応―養護教諭の職務に関する調査結果から―令和2年度改訂</p> <p>日本学校保健会：保健室経営計画の手引き</p> <p>日本学校保健会：学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン</p> <p>文部科学省：養護教諭のための 児童虐待対応の手引</p> <p>日本学校保健会：保健室経営計画の手引き</p> <p>そのほか随時紹介します。</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>定期テスト、課題については授業の中で指示する。</p> <p>授業時に課題として指示するレポートは評価に加えるので必ず提出しましょう。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>学校教育における指針となる学習指導要領および中央教育審議会答申等を一読しておくことが望ましい。</p> <p>新聞等で取り上げられる学校保健関連の報道（現代の小・中・高校生の生活習慣の変化など）について関心をもつこと。積極的に学んだ知識を活用し、発表や討論に臨んでください。</p>